

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童くらぶ ぼけっと		公表日		R8 年 3 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		現在は適切である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用児童全体を把握し対応できる職員体制になっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	段差等なく安全に過ごせる環境を心がけている。	もう少し構造化出来たらよいかと考えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清潔保持に努め、安心・安全に過ごす空間作りを心がけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウン等個別の部屋での対応を行い、職員1名が寄り添って見守りを行うようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		全職員で行うようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者さんの声を反映できる様に検討する場を設けており、その内容に応じて改善できることは改善する努力をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング時など必要に応じて会議する場を設け、業務改善に努めるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		勉強会やグループワーク等で学びや気付きを吸収できる様に研修の機会を設けている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラム無を作成し、ホームページ等で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		定期的のアセスメントを行い、必要に応じて見直しを行うようにしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員や保護者の意見を集約し、その内容に沿って最善の計画作成を行う様に心がけている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員間で共有し、同じ方向性での支援を行う様に心がけている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		その都度確認を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		本人の成長に応じた支援が必要な項目を設定し、支援を行えている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		朝のミーティング時にその日の活動プログラムを検討するようにしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		出来る限り固定化しない様に心がけている。	新たな活動プログラムを検討する必要がある。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		その日の状態に応じて臨機応変に対応できる様になっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝のミーティングにて情報共有を行い、チームとして支援を行える体制作りを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		帰りのミーティングを実施し、その日の振り返り及び支援の改善点を見出すことを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録を取り職員が把握する事で、日々改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、その時の成長に応じた計画立案を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		その都度管理者もしくは管理者補佐が出席し、十分な情報共有が行える様になっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携できる体制作りをお行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		その都度情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者や相談員、就学先の学校関係者や移行先の放デイの職員と一緒に情報共有している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4		現在行えてなく、今後どのようにして行っていくかを検討したい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		現在行えてなく、今後どのようにして行っていくかを検討したい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡ノート等で伝達を行い、共通理解を持っていただけるようにしている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		現在行えてなく、今後どのようにして行っていくかを検討したい。
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		その都度分かり易く丁寧に伝える心がけている。	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		特性に沿った支援計画を策定し、保護者さんにも理解して頂いた上で同意を得ている。	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		特性に沿った支援計画を策定し、保護者さんにも理解して頂いた上で同意を得ている。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		困り事などの相談を含め迅速に対応できる様に心がけている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	活動や行事への参加を呼びかけ一緒に行ったり交流する場を設けている。	保護者会に開催は行えていない為、今後行える様に考えていきたい。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		困り事などの相談を含め迅速に対応できる様に心がけている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月通信を発行し、保護者の方に配布して子どもたちの様子を見て頂いている。	
39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		配慮できている。		

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		スムーズに行えるよう配慮している。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域のお祭りに参加したり、法人が主体となって実施し地域の方々にも参加して頂く取り組みを行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		様々な状況下において対応できる様に訓練を実施している。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		様々な状況下において対応できる様に訓練を実施している。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者さんからの連絡や連絡帳に記載してあることを確認している。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		情報を保護者と共有し、食事なども気を付けるように対応している。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、保護者への説明にて取り組みを行っている。	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全計画を作成し、保護者への説明にて取り組みを行っている。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事案が発生した場合、情報共有を行いまた書面にて振り返りを行う事で再発防止に努めている。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的な研修等を行い、虐待防止に努めている。	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		現在対応する児童がいない		